

B委員

【意見欄】

<総合意見>

5つの柱、①サーフストリート構想、②都市軸の整備、③雇用創出と事業創出、④子育て支援と個性ある教育の推進、⑤シティプロモーション、すべてが総合定性評価C（目標をやや下回る見込みであり、要因の分析と見直しの要否を検討する）である。総合定量評価については、平均的にC程度であると考えられる。総合的には、目標をやや下回る見込みであると総括できる。

今後は、目標達成に近づけるよう必要な対策を取っていくことが求められるが、その際重要であると考えられる視点について、下記のように意見したい。

<下回る要因の考察>

総合評価が目標を下回るということで、目標の設定レベルの妥当性が適切であったか分析・検討が必要である。下回る原因として抽出された要因については、外的要因（例えば、国の交付金制度変更や新型コロナウイルス感染拡大など）であるか、内的要因（町での検討や推進が不足していた）であるかについては、分離して評価すべきである。外的要因については、対処の困難さは理解できうるが、内的要因については、どういった点がボトルネックであったかを適切に把握しなければ、再び同じ結果を導く可能性がある。

具体的には下記の点について、未実施・未推進の理由について整理、説明が求められる。

一宮サーフストリート構想

③サーフストリートから駅周辺地域への誘導に関して、未実施の理由について簡潔に説明が必要である。

都市軸の整備

③駐車場・駐輪場の整備、駐車場に関して、未整備の理由について簡潔に説明が必要である。

⑤駅周辺商店のブランド化に関して、実現に至らなかった理由について簡潔に説明が必要である。

雇用創出と事業創出

①企業の担い手育成・研修生受け入れに関して、定期的な継続には至らなかった理由について簡潔に説明が必要である。

⑥社会参加と生きがいづくりに関して、実践に至らなかった理由について簡潔に説明が必要である。

子育て支援と個性ある教育の推進

⑤結婚相談所の設置に関して、未設置の理由について簡潔に説明が必要である。

⑥産科医・助産院の整備促進に関して、未推進の理由について簡潔に説明が必要である。広域連携について関係者の会合などは実施されなかったのか、もしされていれば、未推進ではなく、推進したが整備には至らなかったという表現が適切である。

⑩茶あびの合同開催に関して、実施には至らなかった理由について簡潔に説明が必要である。

シティプロモーション

⑤長生ブランドについて、未推進の理由について簡潔に説明が必要である。

<ロジックモデルでの評価>

各事業について、投入された資源（インプット）は様々であることが予想される。費用を要した事業や職員が多く稼働した事業もあれば、安価に実施できた事業もあるかもしれない。政策評価においては、事業を実施するにあたり必要な資源の見積と、実施された成果とのバランスも重要な視点である。資源が少なく成果が大きければ、コストパフォーマンスに優れた事業ということになる。細かい見積は不要であるが、各事業の評価においては要した資源について大・中・小などと大まかな区分があると評価の

助けになる。計画立案時に資源と成果のバランスを意識できると、より実行可能性の高い計画策定に繋がられるのではないかと。

<マネジメントレビュー>

各事業の推進が、適切にマネジメントされていたかの視点も重要である。未推進・未実施の項目が散見されるが、事業の推進が、行政内部でどのようにマネジメントされていたのか、マネジメントは適切であったかの評価は必要ではないか。長期の計画であれば、1～2年の短期的な評価や、中長期の評価を組み合わせることもある。行政内部での自己評価に加え、第三者評価が実施されることもある。いずれにせよ、事業のマネジメントに対するレビュー・評価は、事業の実施そのものにおいても重要なフィードバックになりうるが、計画や事業の評価において重要な視点であると考えられるため、今後の計画や評価においては検討いただきたい。